

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(世界ランクシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0553

(注)本稿は 2021 年 12 月 13 日から 17 日まで 3 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2021.12.19

前田 高行

北欧が上位を独占、アラブ諸国はすべて 100 位以下:報道の自由度

(世界ランクシリーズ その10 2021年版)

国連などの国際機関あるいは世界の著名な研究機関により各国の経済・社会に関するランク付け調査が行われている。これらの調査について日米中など世界の主要国及びトルコ、エジプト、イランなど中東の主要国のランクを取り上げて解説するのが「世界ランクシリーズ」である。

第10回の世界ランクは、ジャーナリストの NGO 団体「国境なきレポーター(Reporters Without Borders)」(略称 RSF)が発表した「報道の自由度2021 (Press Freedom Index 2021)」をとりあげて比較しました。



RSF ホームページ: <https://rsf.org/en/ranking>

1. 「World Press Freedom Index」について

「国境なきレポーター(Reporters Without Borders)」は、1948年の世界人権宣言、及びこれに続く1950年の「人権と基本的自由の保護に関する会議」などで採択された、いくつかの憲章や宣言に触発され、各国の報道関係者が自発的に結成した非政府組織(NGO)である。フランスのジャーナリストが中心となって設立されたため、正式の組織名は Reporters Sans Frontieres であり、その頭文字をとって RSF と略称され、本部はパリにある。

RSF は、世界各国で取材妨害を受け、時には生命の危険に晒されているジャーナリストを保護し、その障害を取り除く活動を行っており、その一環として2002年から毎年、報道の自由度に関する各国のランク「報道の自由の指標(Press Freedom Index)」を公表してきた。この指標は RSF が作成したアンケートに対して、世界各地の表現の自由のための擁護組織団体及び多数のジャーナリストが回答した結果を集計したものである。

2021年版 Press Freedom Index は世界180カ国の報道の自由度を指標化し、ジャーナリストに

5位は中米のコスタリカであった。

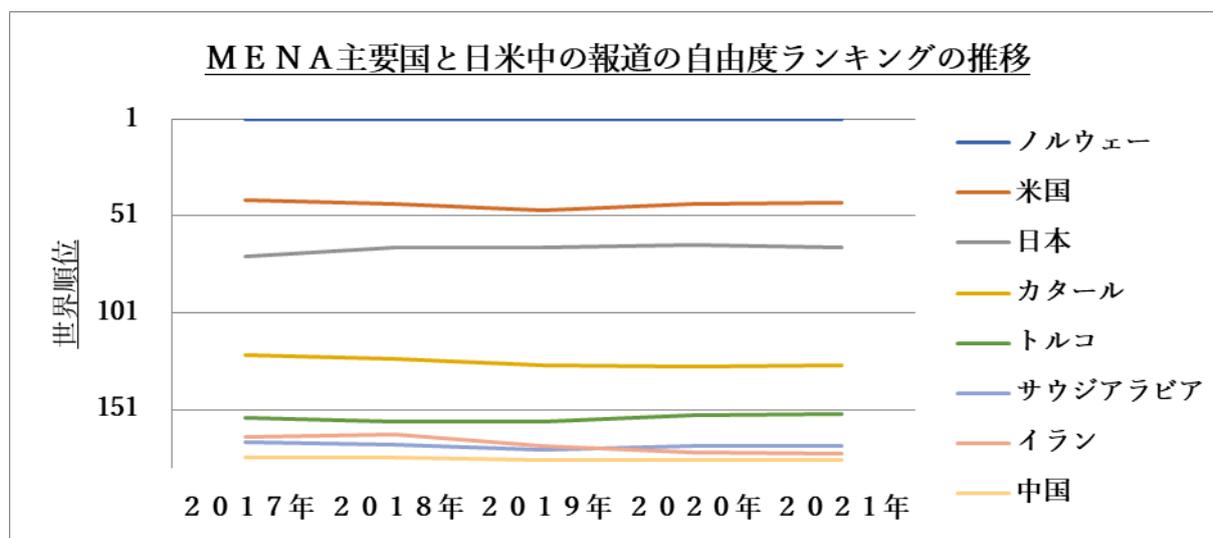
日本を含む主要な国々の世界ランクを見ると、米国はスコア23.93で世界44位である。日本は米国よりもランクが低くスコア28.88で世界67位である。両国のスコアと順位を昨年と比較すると、米国はスコアが0.08悪化しているが順位は1ランク上がっており、日本はスコアが0.02、順位も1ランク下がっている。日本以外のG7の国々はドイツ(13位)、カナダ(14位)、英国(33位)、フランス(34位)、イタリア(41位)、米国(44位)といずれも日本より報道の自由度が高いとされている。またBRICs諸国は世界100位以下にとどまっており、ブラジル(111位)、インド(142位)、ロシア(150位)、中国(177位)である。特に中国は調査対象国180カ国中でほぼ最低レベルに評価されている。

中東諸国を見ると、トップはイスラエルで同国の世界順位は86位と世界のほぼ中位である。しかし同国以外の中東各国はいずれも100位以下であり、その中で比較的高い国は世界105位のクウェイト及び同107位のレバノンである。クウェイト以外のGCC諸国はカタールが128位、UAEが131位であり、サウジアラビアは世界180カ国中のほぼ最低ラインの170位にとどまっている。カタールはアラビア語圏ではもっとも人気の高いアル・ジャジーラ放送の拠点であり、欧米諸国からは国際報道姿勢を高く評価されているが、同国自身にかかわる取材は他のGCC諸国と同様強く規制されているようであり、報道の自由度としての同国の評価は必ずしも高くない。

中東の主要国であるトルコ、エジプト及びイランの世界ランクはそれぞれトルコ153位、エジプト166位、イラン174位でありいずれも自由度の評価は低い。3か国のスコアを前年の2019年と比較すると、トルコは50.02→49.79、エジプトは56.82→56.17とそれぞれ改善しているが、イランは64.81→72.70と大幅に悪化しており、世界順位も1ランクダウンしている。

(ノルウェーが5年連続世界一位、世界最低レベルを抜けられない中国！)

3. 日米中と中東主要国の世界ランクの推移(2017年～2021年)



2021年世界一位のノルウェーに加え日本、米国、中国及び中東4か国(カタール、トルコ、サウジアラビア及びイラン)の2017年から2021年までの5年間の世界ランクの推移を見ると、ノルウェーは5年連続でトップを維持している。

米国の世界順位は43位(17年) →45位(18年) →48位(19年) →45位(20年) →44位(21年)と5年連続で40位台である。同国は2017年から19年まで連続して順位を下げたが、2019年の48位を底にその後2年間は上昇し2021年は44位である。日本の順位は72位(17年) →67位(18年) →67位(19年) →66位(20年) →67位(21年)と変化しており、2018年に70位台から60位台に上昇した後は横ばい状態である。

中東イスラム国のカタールとトルコは、カタールが123位(17年) →125位(18年) →128位(19年) →129位(20年) →128位(21年)とランクは下降気味であり、トルコは155位(17年) →157位(18年) →157位(19年) →154位(20年) →153位(21年)と5年間を通じて150位台を上下している。サウジアラビアとイランは宗派の違い(スンニ派とシーア派)あるいは政治体制の違い(専制君主制と宗教独裁制)により対立する湾岸地域の二大国であるが、報道の自由度では両国とも世界最低のレベルである。特にイランは165位(17年) →164位(18年) →170位(19年) →173位(20年) →174位(21年)と2018年以降4年連続で順位が低下している。

中国の過去5年間の報道の自由度ランクは176位(17年) →176位(18年) →177位(19年) →177位(20年) →177位(21年)と全く変化がなく世界180カ国の最底辺にランク付けされたまま改善の兆候は見られない。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-Mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

報道の自由度(Press Freedom Index)ランキング

2021年			2020年		2021/2020年	
世界順位	国名	ポイント	世界順位	ポイント	順位	ポイント
1	ノルウェー	6.72	1	7.84	0	1.12
2	フィンランド	6.99	2	7.93	0	0.94
3	スウェーデン	7.24	4	9.25	1	2.01
4	デンマーク	8.57	5	8.13	1	▲ 0.44
5	コスタリカ	8.76	7	10.53	2	1.77
最下位 (180位)	エリトリア	81.45	-	-	-	-
42	韓国	23.43	42	23.70	0	0.27
44	米国	23.93	45	23.85	1	▲ 0.08
67	日本	28.88	66	28.86	▲ 1	▲ 0.02
111	ブラジル	36.25	107	34.05	▲ 4	▲ 2.20
142	インド	46.56	142	45.33	0	▲ 1.23
150	ロシア	48.71	149	48.92	▲ 1	0.21
177	中国	78.72	177	78.48	0	▲ 0.24
	(中東主要国)					
86	イスラエル	30.90	88	30.84	2	▲ 0.06
105	クウェイト	34.36	109	34.30	4	▲ 0.06
107	レバノン	34.93	102	33.19	▲ 5	▲ 1.74
128	カタール	42.60	129	42.51	1	▲ 0.09
131	UAE	43.13	131	42.69	0	▲ 0.44
153	トルコ	49.79	154	50.02	1	0.23
166	エジプト	56.17	166	56.82	0	0.65
170	サウジアラビア	62.73	170	62.14	0	▲ 0.59
174	イラン	72.70	173	64.81	▲ 1	▲ 7.89